

## オリジナルテキスタイルの研究

長野県屋代南高等学校 佐藤 帆乃夏

1. 学校名 長野県屋代南高等学校
2. 学科名 ライフデザイン科
3. 対象学年 3学年ファッションデザインコース
4. 対象生徒数 14名
5. 対象教科 課題研究
6. 目的・概要 3年間の学習の集大成として、ファッションデザインコースの生徒の個性を表現するオリジナルのテキスタイルをデザインする。地域の特徴や伝統的な文様を取り入れながら、伝統的かつ現代的なデザインを目指す。デザインしたテキスタイルでファッション作品を製作し、作品発表会にて披露する。
7. 学習計画
  - ・テキスタイルデザインを考える (6月)
    - テキスタイルに向くデザインについて考える
    - 14人の個性を表現しながら、デザインの統一性を持たせる研究
  - ・テキスタイルを活かしたファッションデザインを考える (6月)
    - 個性を表現しながらも、集団としての表現の在り方について考える
  - ・作品製作 (6月～11月)
    - オリジナルテキスタイルプリント生地製作の依頼
    - パターン製作、縫製
  - ・作品発表会での作品披露 (12月)

## 8. 実施内容

### (1) テキスタイルデザインを考える

#### ① ベースとする文様を決める

メンバー全員の個性を取り入れて表現するために、どのようにデザインしたら良いかをコース全員で意見を出し合った。日本の伝統文様をモチーフにデザインすることを決め、様々な伝統文様について学習した。伝統文様は、それぞれ成り立ちによって名前と意味を持ち、その文様のもつ意味合いも含めて、デザインすることとした。

伝統文様のなかから、縁起の良い吉祥文様とされる七宝つなぎ文様、青海波文様、麻の葉文様、亀甲文様、三崩し（さんくずし）文様、源氏香文様などいくつかの候補が挙げられた。最初に選定されたのは源氏香文様であったが、デザインへのアレンジがしにくいいため、再度検討して三崩し文様をベースにしてデザインすることに決定した。



#### ○三崩し・算崩し 別名 網代文様 網代組み

3本ずつの線を石畳文様のように縦横に配したもの。元は算木（さんぎ）を崩した形からなる。算木とは中国数学や和算で用いられた計算用具のことである。「算木崩し」、「算崩し」とも呼ばれていた。易占の八卦（はっけ）も算木を使って吉凶を占っていたことから、八卦文様と呼ばれることもあった。古くから日本の生活の中で身近なもので、磁器などの文様としても使われた。三本ずつ縦横に配列したので「三崩し」、四本のを「四崩し」と言う。和風建築の天井などにも使われる網代に似ていることから「網代組み」や「網代文様」とも呼ばれる。



石畳文様は、途切れることなく続くため繁栄を意味し、網代は大漁を意味する文様である。三崩し文様もまた、末永く続く繁栄と繁盛を願う文様である。

#### ② 配色を考える

算崩しをベースに、デザインすることを決め、次に14人の個性を表現する配色を考えることとした。2年次に色彩について学習し配色を学んだので、その知識を生かして14人それぞれが自分を表す3色を選んで配色し、三崩し文様の中に配するデザインを考えた。それぞれが選ぶ色を「私を表す色」と名付け、自分らしさを表現する色と配列で、三崩し文様をデザイン化することとした。

この「私を表す色」を配置してデータ化するために、諏訪実業高校浅見大輔先生にご協力いただき、エクセルで配色をデータ化するシステムを作成していただいた。

生徒は、パソコンを用いてサイト上で色を選び、そのコードをコピーして入力すると、エクセルシート上に配色を再現することができる。以下は、14名の「私を表す色」を表にしたものである。

1 丸山 菜月 &H0098f3  
&H0083f0  
&H2594a6

8 小野塚 珠那 &Had7990  
&He6d0db  
&H7c0d9a

2 佐藤 帆乃夏 &HC4B4FE  
&Hfbf9fe  
&Head6ff

9 武捨 るりは &H848347  
&H81b893  
&H844a16

3 大森 &Hc8dafb  
&Hacd8c1  
&Hd6dcdd

10 水口 ほのか &H3638a7  
&H250164  
&H71417a

4 塚田 真帆 &H5a8800  
&H94ebe6  
&H784a27

11 滝澤 花梨 &He8e2bc  
&Hf2effd  
&Hdebcbb

5 外谷 翠 &H93c9ff  
&Hd7c1a4  
&Hcc99cc

12 田島 弥麗 &H602f19  
&Hefece8  
&Hbd9aa6

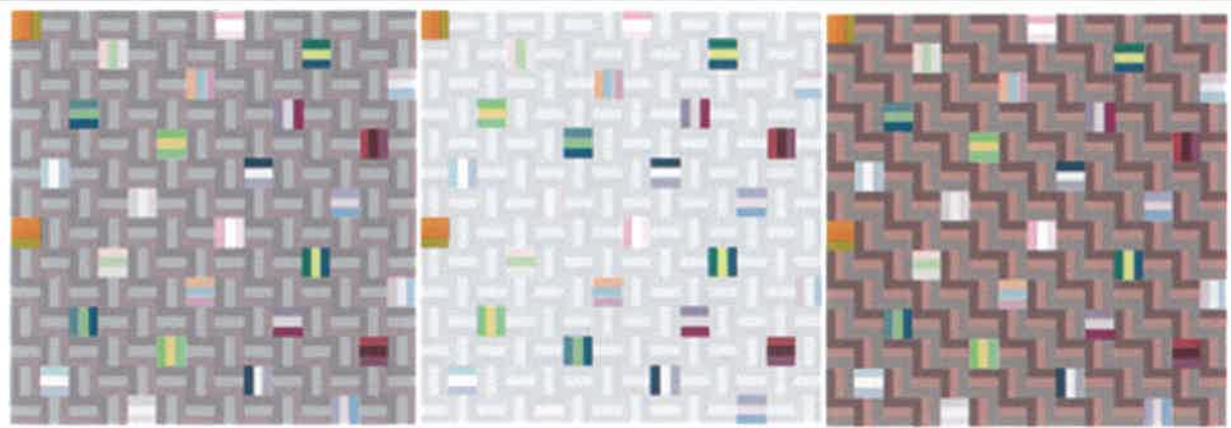
6 大館 万莉菜 &Hd8bfd8  
&Hfae6e6  
&Hdec4b0

13 甲斐 逢伽 &Hd6ccd3  
&Hebe7e7  
&He3cde6

7 小澤 恵 &H76ca93  
&H8ce5f8  
&H8ed998

14 関谷 結衣 &Hca9aa5  
&He3cde6  
&Hd4a284

14名が選んだ配色は、どれもその人の個性があらわれた配色である。この14の配色を、霰文様のよ  
うに全体にちりばめ、その間を埋める配色を考えた。個性的な配色が活きるように、14人分の「私を  
表す色」と重ならない配色を3パターン製作し、実際に14人分の配色と組み合わせてみた。



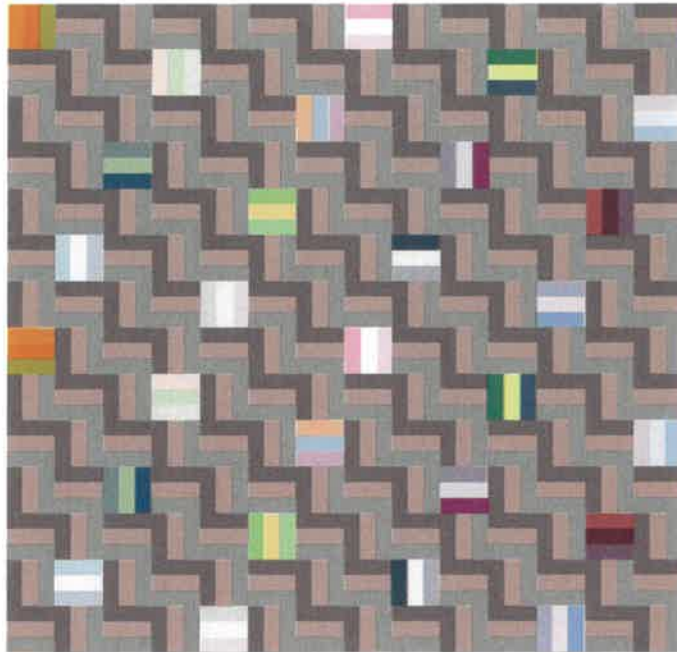
A 案

B 案

C 案

A～Cの3つの案から14人がイメージしているデザインと近いものを皆で話し合い、C案を選んだ。

決定デザイン  
(ほぼ原寸大)



このデザインを布にプリントするために、繊維メーカー（株）宇仁繊維に依頼して生地サンプルを取り寄せ、プリント下地の選定を行った。14人の意見をもとに、張りのあるポリエステル生地を選んだ。

プリント下地がポリエステルの場合、転写プリントの方が安価で仕上がるため転写プリントとし、データを送り、三崩しの一マスの大きさを6ミリ程度に仕上げるよう調整して依頼した。

### (2) テキスタイルを活かしたファッションデザインを考え、作品を製作する

今回のテキスタイルデザインは、日本の伝統文様をモチーフとしているので、ファッション作品自体も「和」をテーマにデザインすることにした。オリジナルテキスタイルをデザインの一部に使うこととするが、そのテキスタイルの取り入れ方や、全体の色合い、シルエットなどは、14人それぞれが個性的に表現することとした。14人それぞれが思い描く「和」のデザインを取り入れたファッション作品をデザイン画に描き、作品製作を行った。

### (3) 作品披露

2022年12月9日（金）10日（土）、千曲市の信州の幸あんずホール（更埴文化会館）にて、ライフデザイン科作品発表会を行い、ショー形式で作品を披露した。

オリジナルテキスタイルの作品は、発表会のオープニングを飾る作品として、ショーを構成して披露した。



#### (5) まとめ

オリジナルテキスタイルで作品を製作するという学習を通して、色彩の面白さとデザインの難しさを感じた。色は、同じ色でも組み合わせによって見え方が違ったり、印象が変わったりするので、配色を工夫することでいろいろな表現ができると感じた。14人の「私を表す色」は、似た色を選んでいても同じものは一つもなく、選んだ人の個性が出たものになった。完成したファッション作品は、「私を表す色」以上に個性的で魅力的な作品になったと感じた。布のデザインから取り組み、個性を生かす学習は、3年間のまとめの学習としてふさわしい学習になった。

最後に、本研究助成のおかげで、この取り組みが大変充実した物となりましたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。